

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	火災安全設計小委員会		主 査 名：大宮喜文 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火本委員会		委員長名：山田常圭
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	性能的火災安全設計法に関する技術基盤の整備と普及・啓蒙を行う。 2013 年度：「火災安全設計の原則」フォローアップ、性能的火災安全設計の技術基盤として必要な項目の抽出を行う。 2014 年度：2013 年度に抽出した項目に関する課題整理 2015～2016 年度：課題解決に向けた検討作業		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：		
	主査：大宮 喜文 (東理大)、幹事：山口 純一 (大林組)、松山 賢 (東理大)、委員：原田 和典 (京大)、野竹 宏彰 (清水建設)、萩原 一郎 (建研)、北後 明彦 (神大)、峯岸 良和 (竹中工務店)、中村 三智之 (NTT)、福井 潔 (日建設計)、山田 茂 (フジタ)、北堀 純 (明野設備研究所)、城 明秀 (竹中工務店)、池田 憲一 (東京理科大学)、宮崎 淳 (日本設計)		
設置 WG (WG 名：目的)	火災荷重・設計火災性状 WG(2013/4～2017/3) 2013/3 に刊行した「火災荷重・設計火災性状指針(案)」について、フォローアップとさらなる検討を行い改訂版発行に向けた予備検討を行う。 避難知見の火災安全設計適用に向けた課題探索 WG(2013/4～2017/3) 避難関連分野のこれまでの知見を俯瞰・整理し、今後の避難に関する研究領域を深め・広げるための課題をまとめ、大会 OS や研究集会等を企画する 火災性状予測ハンドブック WG(2013/4～2017/3) 「関数電卓による火災性状計算 (本会近畿支部資料)」をもとに火災性状予測のために設計者が携帯できる小冊子を作成する		
2013 年度予算	65,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/bouka/aij_bk/2/aijkassweb/frame4.htm	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	研協：「2000 年以降の防火設計の実態と防火技術の展望」参加者数 133 名 資料名：同上
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「火災安全設計の原則」のフォローアップの方針を検討し活動スケジュールを計画通りとり決めた。 2. 性能的火災安全設計の技術基盤として必要な項目の抽出を行い、概要を整理した。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員会 HP の充実